

平成 29 年 10 月 27 日

各 位

東京都千代田区平河町二丁目 5 番 3 号
株式会社ガイアックス
代表執行役社長 上田 祐司
(コード番号：3775 名証セントレックス)
(連絡先) 執行役管理本部長 野澤 直人
TEL 03-6869-0005 (直通)

連結子会社間の合併に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、当社の連結子会社である、株式会社シーエムエスエス、株式会社 TMR、株式会社カヨトコ、株式会社 XStartup 及び株式会社テンエックスラボが、本日付で、株式会社シーエムエスエスを存続会社とし、株式会社 TMR、株式会社カヨトコ、株式会社 XStartup 及び株式会社テンエックスラボを消滅会社とする吸収合併（以下、「本吸収合併」といいます。）を行うことを決議し、当事者間で吸収合併契約を締結しましたので、お知らせいたします。

記

1. 本吸収合併の目的

当社グループ全体の経営資源の有効活用、経営の効率化を図り、経営基盤を強化いたします。

2. 本吸収合併の要旨

(1) 合併の日程

合併承認取締役会（当社）	平成 29 年 10 月 27 日
合併契約締結	平成 29 年 10 月 27 日
合併承認臨時株主総会（株式会社 TMR、株式会社テンエックスラボ）	平成 29 年 10 月 27 日
合併予定日（効力発生日）	平成 29 年 12 月 1 日

(注 1) 合併承認臨時株主総会は、会社法第 319 条に基づく書面決議により行われました。

(注 2) 本吸収合併は、株式会社カヨトコ及び株式会社 XStartup においては、会社法第 784 条第 1 項の規定に基づき、株主総会の承認決議を経ずに合併を決定しております。

(2) 合併方式

株式会社シーエムエスエスを存続会社、株式会社 TMR、株式会社カヨトコ、株式会社 XStartup 及び株式会社テンエックスラボを消滅会社とする吸収合併となります。

(3) 合併に係る割当の内容

当社の連結子会社間の合併であるため、本吸収合併による新株式の発行、資本金の増加及び合併交付金、その他一切の対価の交付はありません。

(4) 消滅会社の新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い
該当事項はありません。

3. 本吸収合併当事会社の概要（平成 28 年 12 月 31 日現在）

	存続会社	消滅会社	消滅会社
商号	株式会社シーエムエスエス	株式会社 TMR	株式会社カヨトコ
事業内容	IT 情報サービス、ソフトウェア開発、情報提供サービス	IT 情報サービス	IT 情報サービス
設立年月日	平成 2 年 5 月 8 日	平成 18 年 2 月 22 日	平成 22 年 1 月 15 日
所在地	東京都千代田区平河町二丁目 5 番 3 号	東京都千代田区平河町二丁目 5 番 3 号	東京都千代田区平河町二丁目 5 番 3 号
代表者	代表取締役 羽鳥 和加子	代表取締役 太田 賀子	代表取締役 岡田 健太郎
資本金	25,000 千円	10,000 千円	10,000 千円
発行済株式数	500 株	200 株	200 株
純資産	338,602 千円	11,438 千円	△31,056 千円
総資産	424,043 千円	11,508 千円	2,453 千円
決算期	12 月 31 日	12 月 31 日	12 月 31 日
大株主	株式会社ガイアックス 100%	株式会社ガイアックス 100%	株式会社シーエムエスエス 100%

	消滅会社	消滅会社
商号	株式会社 XStartup	株式会社デンエックスラボ
事業内容	IT 情報サービス	IT 情報サービス、ソフトウェア開発
設立年月日	平成 22 年 1 月 15 日	平成 24 年 1 月 24 日
所在地	東京都千代田区平河町二丁目 5 番 3 号	福岡県福岡市博多区博多駅前 三丁目 9 番 12 号
代表者	代表取締役 岡田 健太郎	代表取締役 鳥居 晋太郎
資本金	10,000 千円	10,000 千円
発行済株式数	200 株	200 株
純資産	5,173 千円	△82,910 千円
総資産	5,878 千円	70,646 千円
決算期	12 月 31 日	12 月 31 日
大株主	株式会社シーエムエスエス 100%	株式会社ガイアックス 100%

4. 本吸収合併後の状況

商 号	株式会社シーエムエスエス
事 業 内 容	IT 情報サービス、ソフトウェア開発、情報提供サービス
所 在 地	東京都千代田区平河町二丁目 5 番 3 号
代 表 者	代表取締役 羽鳥 和加子
資 本 金	25,000 千円
決 算 期	12 月 31 日
大 株 主	株式会社ガイアックス 100%

5. 業績に与える影響

本吸収合併は、連結子会社間の合併であるため、当社の連結業績に与える影響は軽微であります。

以 上